

アル・アクサ洪水第537日目：イスラエルによるガザ空爆が続く | 人道的危機が深刻化 | イエメンを空爆するアメリカ

Palestine Chronicle、2025年3月26日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



イスラエルはガザでの虐殺を続けている。(Photo: via QNN)

主要事項

* ガザはイスラエルの攻撃下で水、医療、基本的必需の公共サービスが完全崩壊し、人道的危機がますます悪化している、

* 西岸地区で、特に難民キャンプに集中して、イスラエル軍による大量逮捕が進行している。

* ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日から続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡した人は50,021人、負傷者は113,274人で、その大多数は女性と子どもである。

最新情報

3月27日 6:07am (パレスチナ時間)

* パレスチナ・メディア：地元の情報筋はイスラエル占領軍がガザ回廊中部のヌセイラト難民キャンプの北部をイスラエル軍が砲撃したと伝えた。

* パレスチナ・メディア：地元情報筋によると、イスラエル占領軍はガザ回廊北部のベイト・ラヒア近くの住宅数軒を解体した。

3月27日 4:21am

* 医療筋：今日夜明けからのガザ回廊北部と南部へのイスラエルの空爆で9人のパレスチナ人が死亡した。

3月27日 4:19am

* パレスチナ・メディア：ガザ回廊南部のハーン・ユーンイスの西のアル・マワシ地区にある避難

民のテントへのイスラエル軍の砲撃で、パレスチナ人1人が死亡、数人が負傷した。

3月27日 1:01am

*パレスチナ・メディア：地元情報筋はイスラエル戦闘機がガザ回廊北部のベイト・ラヒア市を爆撃した。

*レバノン・メディア：レバノン保健省は南レバノンの町マルービを走行している自動車へのイスラエルの無人機による攻撃で、レバノン人が1人死亡したと発表した。

3月27日 12:07am

*パレスチナ・メディア：我々が発信した必見のポッドキャストでリチャード・フォーク教授—元国連のパレスチナに関する特別報告者で国際的正義問題の研究者の国際法専門家—が、複雑な国際法、抵抗権、グローバル・ガバナンス実施のギャップを分析して語っている。反植民地闘争の歴史から現在のガザ戦争について語り、フォーク教授はイスラエルの責任と変革を求める市民社会の役割を解説している。正義感に駆られた行動が緊急的に必要であることと、国際秩序を作り出すうえでの地政学的ダイナミックスの役割を述べた彼の洞察を聞いて欲しい¹。

3月26日 11:58pm

*イエメン・メディア：米軍が首都サヌアの南部を連続的に攻撃した。米軍はサヌアのサーンハーン地域のジルバーン地区を三回空爆し、さらにサヌアのバニ・ハシシ地域のアル・ジュマイマ地区を2回空爆した。

3月26日 11:55pm

*アル・クッズ旅団：我々は占領地（イスラエルのこと）ベエル・シェバ市にあるハツォリム空軍基地をロケット攻撃した。

3月26日 11:51pm

*SNS：エルサレムで多人数のイスラエル人がイスラエル政府本部建物の前で抗議デモをやっ、ガザ戦争の終結とハマスの捕虜交換を再開することを要求した。

3月26日 11:48pm

*カルカリスト²：予備役部隊の危機的状況が悪化し、イスラエル軍は軍務継続をしない兵士への罰を強化している。同時に、軍は予備役部隊で軍務延長に同意した者に金銭的報酬を与えるという誘因政策を採用した。予備役軍務を継続しない兵士には罰金を科すという脅迫をする。兵役拒否する予備役兵への罰金はイスラエルでは普通の現象である。イスラエル人の予備役入隊率は最近低下しており、現在ではせいぜい60%である。その理由は、若者の忍耐力の低下、身体的及び精神的疲労、政府のガザ政策への不同意である。イスラエル軍の各部隊は様々な金銭的誘因をちらつかせて、SNSを通じて予備役軍への入隊者を募集している。

3月26日 10:08pm

*アル・ジャジーラ：今日夕方、パレスチナ・レジスタンス勢力はイスラエルのベエル・シェバ近くのハツェリム空軍基地に向けてロケット弾を発射した。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は今夜緊急の安全保障会議を行い、ガザの軍事状況と捕虜交換の可能性に関する交渉の停滞について協議する。

*イスラエル・メディア：数千人のイスラエル人が、シン・ベト長官ロネン・バル解任、司法の独立に対する挑戦、政府の汚職に抗議して、デモを行った。野党指導者のベニー・ガンツもデモ

¹ Palestine Chronicle のYouTube “Unmissable: Do Palestinians Have Right to Resist?”。リチャード・フォークを囲む対談で、フォークは抵抗権には武装抵抗も含まれるとして、ハマスの行動はテロでなく国際法上正当な権利の行使と述べている。<https://www.youtube.com/watch?v=mWJn6LVNjh8>

² イスラエルの日刊経済新聞およびウェブサイト。

に加わり、政治的対立の深まりを示唆した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル・カッツ国防大臣は政党連合「青と白」(テレム)のモーシェ・ヤアロンを、ガザで「民族浄化」を行っているとして軍を批判する発言をしたとして、軍施設への出入りを禁止した。ヤアロンは元国防大臣であった。

3月26日 7:26 pm

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ・クロニクルの編集者ラムジー・バルードは、ガザの状況に関して、ジョージ・オーウェルの「二重思考」— 矛盾した二つ考えを同時に受け入れて信じ込むこと — を具象化していると論じた³。

3月26日 7:22 pm

*パレスチナ・メディア：昨日の夜、イスラエル軍はガザ回廊中部のデイル・アル・バラフの一軒の家を砲撃した。救急隊が瓦礫の中を捜索しているが、家族の被害状況はまだ分からない。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍は、以前に「安全地帯」と指定したガザ北部のベイト・ラヒアとガザ南部のラファを同時に連続的砲撃を続けている。

*パレスチナ・クロニクル：昨日、パレスチナのための正義を求める国際センター (ICJP)⁴は、ルーマニアに旅行中のイスラエル兵を戦争犯罪容疑者として取り調べて逮捕することを求める刑事告訴をルーマニア当局に提出した。これは ICJP のグローバル195運動の一環である。この運動は、国内及び国際的法律を使って、イスラエル人またはイスラエルと他の国籍を持つ二重国籍者を、軍人または政治家を問わず、戦争犯罪の疑いがある容疑者を追求する運動である。

3月26日 6:36 pm

*パレスチナ・クロニクル：アンサールッター (フーシ派) 軍事報道官ヤヒア・サリーは、今日、国軍のミサイル部隊、空軍、海軍との合同軍事作戦を開始したと発表した。作戦は紅海に陣取っている米国のハリー・トルーマン空母を含む米海軍船舶に対して行うと、サリーは述べた。

*アル・ジャジーラ：昨日午後、イスラエル軍がベイト・ラヒアの町とラファ市を集中的に砲撃したと、アル・ジャジーラ特派員が伝えた。これは、イスラエル軍の封鎖飛び地ガザ全体への攻撃の一環である。

*アル・ジャジーラ (医療筋を引用)：昨日の早朝からのイスラエル軍のガザ回廊への空爆で、少なくとも26人のパレスチナ人が死亡した。空爆はガザ回廊沿岸地帯の住宅地区を標的にした。

*パレスチナ・メディア：今日の最も恐ろしい事件は、ガザ回廊中部の避難民のテント村と慈善団体の食堂へのイスラエル軍のドローン攻撃で、11人が死亡したことだ。仮設シェルターの残骸の中から救急隊が死体を回収する恐ろしい光景を、目撃者が語った。

*アル・ジャジーラ：ガザのハマス幹部ハリル・アル・ハイヤは、ハマスは最近の停戦提案に「前向きに対応した」が、イスラエルはそれを拒否したと、イスラエルを非難した。「イスラエル占領者は仲介者が提案した停戦に署名したのに、それを破ってガザ侵攻を再開した」と、彼はテレビ報道で語った。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍がガザ中部のアル・ザワイダの西にある避難民テント村を攻撃し、死傷者が出たことを伝えた。このテント村は前のテント村攻撃を逃れてきた避難民家族らのテントであった。怪我人でいっぱいガザの病院がますます満杯となった。

³ Ramzy Broud, "Ben-Gvir, Netanyahu, and the Deadly Dance of Power in Gaza", Palestine Chronicle, X, March 26, 2025. <https://www.palestinechronicle.com/ben-gvir-netanyahu-and-the-deadly-dance-of-power-in-gaza/>

⁴ 弁護士、知識人、政治活動家の親パレスチナ団体で、旅行中のイスラエル兵でガザに出兵したことのある者を、国際刑事裁判所の判決に従って、戦争犯罪で告訴する活動を行っている。

*パレスチナ・クロニクル：最近トランプ政権の高官の間のグループ・チャットが漏洩し、政権の重要な政策が実に配慮のない、いい加減なやり方で決められていることが暴露された。ロバート・インラケシュは、舞台裏の実態を教えてくれるだけでなく、面白い娯楽にもなると言った。

*パレスチナ・クロニクル：国境なき医師団は、イスラエル軍のガザ攻撃は武力のほかに電気、燃料、水の遮断も使われ、それが「もう一つの戦争戦術」にされていると非難した。電気と燃料は海水脱塩施設、給水ポンプ、その他のインフラの稼働にとって不可欠な資源であると、国境なき医師団は昨日の声明で述べた。

3月26日 4:56 pm

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は、大問題となっているロネン・パール解任の後を次ぐシン・ベト長官となる候補者4人を、今日面接する予定である。イスラエル高裁が重要な安全保障機関の人事への政治的介入だと批判したことを受けて、慌てて選考を進めた模様である。

*レバノン・メディア：レバノンのナワフ・サラム首相はベイルートの記者会見で、レバノンとイスラエルの国交正常化はあり得ないと、断固否定した。「レバノン国民がまったく受け付けない」と首相は言った。しかし、国境で緊張が高まっているが、イスラエルに圧力をかける外交的選択肢は使うと付言した。

*UNRWA高官(アル・ジャジーラ報道)：先週イスラエルが戦争を再開してから、たった1日で数百人のパレスチナ人が死亡した。そのうち180人が子どもである。病院は満杯となり、救急隊は被害現場が多すぎて手が回らず、病院へ搬送されても医薬品や施設の不足で、治療可能な患者が死んでいくのを見守るだけだと医師が嘆いている。

*国連人権高等弁務官事務所：イスラエルによるパレスチナ人の土地の収奪を阻止する緊急行動を要請する新報告書を出した、それによると、すべての違法入植地の解体、強制移住につながる政策の撤回、東エルサレムで没収した財産の返還、パレスチナ人家屋の組織的解体の中止など、イスラエルに対する要請が列挙されている。国連は、継続的に行っている土地の収奪は国際法違反だと警告している。

3月26日 2:03 pm

*ガザ政府メディア・オフィス：ガザ政府は飢餓が差し迫っていると警告を発した。ガザ住民の85%が主要食糧源を失っている。市場には基本的品物がない。燃料搬入妨害のためにパン屋が閉店。停電が1年半続いている。「イスラエルのガザ封鎖が人為的飢餓を作り出している」と、ガザ政府は宣言。国連機関も子どもが栄養失調で死亡している報告をしている。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍の無人機がラファのアル・ズフル地区の民間人の自動車を銃撃し、1人を殺害、2人を負傷させた。この攻撃は避難民の仮設シェルターの近くで起きた。

*アル・クツ旅団：「我々はガザ回廊の周辺にあるイスラエル人入植地を、パレスチナ人へのシオニストの犯罪への仕返しとして、ロケット弾で攻撃した」と発表。イスラエル・メディアはこの72時間に4回のロケット弾攻撃があり、イスラエルの防空システム「アイアンドーム」が2発のミサイルを迎撃したことを確認した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍がガザからロケットが発射されと報告すると、ガザ回廊近くのイスラエルの村や町やキブツで警報が鳴り響いた。ガザからの攻撃は、イスラエル軍が「安全地帯」であるはずのラファのアル・マワシ地区を空爆して女性を1人殺害した数時間後に起きた。

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルの空爆は子どもを含む31人を殺害した。イスラエル・カッツ国防大臣はさらなるエスカレートを宣言した。

3月26日 11:50 am

*ハマス声明：ネタニヤフ首相は極右大臣たちを喜ばせるために停戦協定を破った。彼の軍事路線選択は人質帰郷に繋がらないだろう。反対に人質を殺害することになる。国際社会はイスラエル

に圧力をかけて、交渉に復帰させるべきだ。ネタニヤフは軍事路線で人質を取り返すと人質家族を騙そうとしている。

*イスラエル・メディア：テルアビブ大学の学長は「我々は学生の抗議活動をキャンパス内に限定するつもりはない。必要とあらば、イスラエル国の経済全体を麻痺させる抗議運動を認める。民衆の運動が政府の違法な行為に対する最高裁の判決を支える」と言った。

*ガザ市役所：イスラエル軍はゴミ処理場となる埋立地へのアクセスを妨害しているため、避難民のシェルター近くに危険な廃棄物捨て場を作らざるを得なくなった。今や175,000トンの廃棄物が170万人の避難民を危険にさらしている。

3月26日 10:44am

*イスラエル・メディア：イスラエルの大学教授たちがエルサレムで対政府抗議デモの先頭に立っている。抗議の対象は二つ、シン・ベト長官ロネン・バル解任と政府の法律顧問への不信任決定に対してである。

*アル・ジャジーラ：国境なき医師団はガザでの水のインフラの崩壊に関して厳しい警告を出した。警告はイスラエルの電気と燃料の制限が事実上清潔な水へのアクセスを遮断し、住民を汚染水の使用へと追い込んでいることを詳しく述べている。

*パレスチナ・メディア：地元からの報告によれば、今朝、ガザ市ザイトゥーン地区でイスラエルの狙撃兵がパレスチナ人の10代の若者を撃って負傷させた。若者はただ道に立っただけだった。医療団が急いで現場に駆け付けたが、軍が救急車をほぼ半時間立往生させた。

*OCHA（国連児童問題調整事務所）：OCHAはガザの医療インフラに関する緊急警告を報告した。それは、物資のない状況の中で働く医療スタッフの疲労困憊、イスラエル軍の救急車や病院に対するひっきりなしの攻撃、救急活動の機能不全を挙げている。「これは戦争行為ではなく、国際法に違反する医療への組織的攻撃である」とOCHAの報道官は述べ、早急の国際的介入を要望した。

*パレスチナ・クロニクル イスラエル軍によるガザ空爆で、家族を含む少なくとも31人が死亡。カッツ国防相はさらなるエスカレーションを宣言した。

*アル・ジャジーラ：夜、イスラエル軍の複数部隊が西岸地区の難民キャンプ二つを襲撃した。ベツレヘム近くのアイダ難民キャンプとナブルス郊外のバラータ難民キャンプである。イスラエル兵は家を一軒一軒搜索し、数十人の若者の身柄を拘束した。

*パレスチナ・メディア：今朝、イスラエル軍のベイト・ラヒアへの空爆で、少なくとも1人の民間人が死亡し、数人が負傷した。死亡者は42歳の店主で、自分の家の前に立っているところを空爆されたと伝えられる。

パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍が西岸地区ナブルスの東にあるバラータ難民キャンプを襲撃した。